

令和5年7月24日
北九州市八幡西区役所

報道機関各位

市内唯一の天文台設置市民センター！

香月市民センターで『金星と月』の天体観測会を開催します

北九州市八幡西区にある香月市民センターは、市内では唯一、天文台が設置されている市民センターです。このたび、天文台に備えられている天体望遠鏡（口径 20cm、400倍）を使って、金星と月を観測する天体観測会が行われますので、お知らせいたします。

5月に開催された前回の観測会では、親子で約70名が参加され、天体望遠鏡で金星観察を楽しみました。

今回は金星と月の観察とともに「はやぶさ号」または「月」のペーパークラフトも予定されています。参加される場合は、香月市民センターへ申し込みをお願いします。

記

- 日時** 令和5年7月29日（土）19時～
- 場所** 北九州市立香月市民センター
北九州市八幡西区香月中央一丁目7番1号 電話 093-617-0203
- 内容** (1) 金星と月のお話
(2) ペーパークラフトづくり
(3) 金星と月の観察（クラフトづくりの合間）
- 講師** 久野 史郎氏（元北九州市役所職員）
泉原 一孔氏（高校教師）
原田 千秋氏（元プラネタリウム解説員）

※雨天の場合は、「ペーパークラフトづくり」のみ実施します。

【問い合わせ】

◎八幡西区役所コミュニティ支援課
電話：093-642-1337
担当：上野（課長）・梅田（係長）

【参加申し込み】

◎北九州市立香月市民センター
電話：093-617-0203
担当：加来（館長）

(参考) 香月市民センターの天文台物語

それは昭和44年のことでした。八幡中央公民館の屋上に当時市内でも一番大きな鏡径200ミリの天体望遠鏡がありました。しかし、スモッグに汚れた空では星を見る機会も少ないため利用者もいません。そこで、香月児童館を中心に生まれた「星を見る会」の講師で、当時、北九州市役所勤務の久野史郎さんらがそのことを知り、市に申し出て譲り受けたのです。

解体された望遠鏡は久野さんの手で20日ばかりで組み立てなおされました。運搬や据え付け工事は香月児童館や香月公民館の人たちが手伝いました。

その後、平成2年に児童館と市民センターが新築されるにあたり、電動式による自動で星を追跡する新しい望遠鏡に取り替えて現在に至っています。

望遠鏡が到着した昭和44年の翌年には「星を見る会」が開かれ、それ以来、53年間、連綿と観測会は続いています。現在の講師は4名で、初期からお世話いただいている久野先生や高校教師の泉原先生、元元プラネタリウム解説員の原田先生、神社勤務の松田先生です。